

2019 年2月期決算説明資料

- 20 期の総括
- 21 期の課題
- 補足資料

2019 年4月16日



株式会社 買取王国

第 20 期の総括

売上高については、メディア・トレカ・ブランドが不調のため、既存店売上高は前年同期を下回りました。多店舗展開を手掛けた工具専門店業態が順調に成長し、会社全体の売上高が前年同期を上回りました。

利益面については、粗利率の向上により売上総利益が改善しましたが、上昇した人件費及び新規出店諸費用をカバーできず、営業利益、経常利益及び当期純利益が前年同期を下回ることとなりました。

以上の結果、当事業年度の売上高は4,739百万円（前年同期比1.3%増）、営業利益は34百万円（前年同期比73.2%減）、経常利益は49百万円（前年同期比64.0%減）、当期純利益は12百万円（前年同期比81.9%減）となりました。

第 21 期の課題

① 商品政策

古物法の改正により、店舗外での買取が容易にできるようになったため、前期に催事買取を導入いたしました。今期中、催事買取を積極的に開催し、効率の良い開催モデルを確立してまいります。出張買取、宅配買取及び法人買取などのチャンネルとともに会社全体の商品調達力を高めてまいります。

取扱商品については、売上構成比の高いファッション・ホビー及び成長性の高い工具を攻めるものとして力を入れ、ブランド・トレカ・アウトレット衣料を徹底して守り、家電・スマートフォン・生活用品を育てていきます。

② 店舗政策

既存店の業績は、一部の回復が見られましたが、計画通りの成果を得られておりません。店舗間の改善格差をなくすために、店舗マニュアル作成専任者を置き、教育プロジェクトチームと共に、標準化を推進してまいります。

出退店については、営業本部内に検討委員会を設け、店舗の売場構成等、地域特性に合わせた営業現場主導の展開を続けてまいります。不採算店舗買取王国豊田248店を2019年5月末に撤退することを決定した一方、買取王国岡崎大樹寺店別棟の一階を改装し、工具買取王国岡崎大樹寺店（愛知県岡崎市）として、2019年3月21日にオープンいたしました。

また、工具専門店業態に関して、前期から進めた多店舗展開を加速し、工具買取王国岡崎大樹寺店（愛知県岡崎市）を含め、計6店舗の出店を計画しております。

補足資料

1. 損益計算書概要

(単位:千円)

	第19期 自2017年3月1日 至2018年2月28日	第20期 自2018年3月1日 至2019年2月28日	増減比(%) (前年同期差異)	第21期 業績予想	増減比(%) (前年同期差異)
売上高	4,678,355	4,739,676	1.3	4,902,204	3.4
売上総利益	2,504,005	2,575,624	2.9	2,693,666	4.6
売上総利益率 (%)	53.5	54.3	1.5	54.9	1.1
販管費	2,376,835	2,541,542	6.9	2,636,735	3.7
販管比率(%)	50.8	53.6	5.6	53.8	0.3
営業利益	127,169	34,081	△73.2	56,931	67.0
営業利益率(%)	2.7	0.7	△73.6	1.2	61.5
経常利益	138,417	49,866	△64.0	63,937	28.2
経常利益率(%)	3.0	1.1	△64.4	1.3	24.0
当期純利益	69,323	12,576	△81.9	36,930	193.7
当期純利益率 (%)	1.5	0.3	△82.9	0.8	183.9

2. 商品分類別販売実績

(単位:千円)

	第19期		第20期		増減比(%)
	売上高	構成比(%)	売上高	構成比(%)	
ファッション	2,403,997	51.4	2,414,665	50.9	0.4
ホビー	978,670	20.9	962,238	20.3	△1.7
GAME	176,650	3.8	129,179	2.7	△26.9
貴金属	131,578	2.8	134,632	2.8	2.3
工具	126,341	2.7	275,542	5.8	118.1
その他	861,116	18.4	823,419	17.3	△4.4
合計	4,678,355	100.0	4,739,676	100.0	1.3

3. 全店、既存店の前期比及び店舗数

		売上高（単位：％）		店舗数（単位：店）		
		全店	既存店	出店数	退店数	全店舗数
	2018年3月	99.6%	94.3%	1	—	33
	4月	99.5%	96.1%	—	—	33
	5月	99.2%	95.4%	1	—	34
	6月	101.4%	98.0%	—	—	34
	7月	97.9%	93.9%	—	—	34
	8月	100.3%	96.1%	1	—	35
	上期計	99.6%	95.6%	3	—	35
	9月	102.3%	98.1%	1	—	36
	10月	101.3%	96.5%	1	—	37
	11月	98.7%	94.5%	—	—	37
	12月	107.0%	102.6%	—	—	37
	H31年1月	103.1%	97.4%	1	—	38
	2月	104.3%	97.7%	—	—	38
	下期計	102.8%	97.9%	3	—	38
	2019年2月期計	101.3%	96.8%	6	—	38

4. キャッシュ・フローの状況

(単位：千円)

	第19期 自2017年3月1日 至2018年2月28日	第20期 自2018年3月1日 至2019年2月28日
営業活動による キャッシュ・フロー	353,301	67,922
投資活動による キャッシュ・フロー	△57,092	△404,775
財務活動による キャッシュ・フロー	△173,145	△166,154
現金及び現金同等物の期末残高	1,172,929	669,922

5. 販管費の状況

(単位:千円)

	2018年2月期	2019年2月期	前年同期比
給料及び賞与	991,050	1,063,493	7.3
地代家賃	441,502	458,918	3.9
水道光熱費	73,452	78,271	6.5
消耗品費等	85,538	89,828	5.0
減価償却費	130,566	129,986	△0.4
広告宣伝費	21,976	23,257	5.8
その他	632,748	697,786	10.2
販管費合計	2,376,835	2,541,542	6.9

以上